

所有する農地の転用をする場合の

記入例

共有の申請で共有者が多く、書ききれない場合は、「別紙のとおり」とし、別紙に記入の上、申請書に綴じて割印をしてください。
また、その場合、共有者の数の申請書(副本)も必要となります。

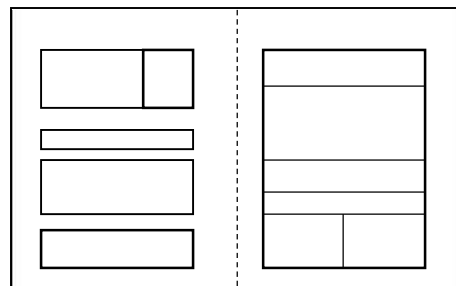
現住所が、許可を受けようとする土地の登記事項(全部事項証明)に記載された住所と異なっている場合は、住民票や戸籍の附票等、前住所から現住所への異動が確認できる書類を添付してください。

許可を受けようとする土地の筆数が多く、書ききれない場合は、「別紙のとおり」とし、別紙に記入の上、申請書に綴じて割印をしてください。

転用目的を具体的に記入してください。
【例】
一般個人住宅、農家住宅、倉庫、店舗、賃貸住宅、建売住宅、住宅敷地拡張、資材置場(具体的な資材)、宅地分譲(区画数)、駐車場(台数)、植林(本数)等

○申請書の印刷の仕方

※A3版に2面を印刷してください。



(様式第1号)

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定による許可を申請します。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

申請者(氏名) **田畑耕作**

加茂市農業委員会会長 〇 〇 〇 〇 様

農業委員会受付
〇〇 年 月 日
整理番号

田畑

捨印

田畑

訂正がある場合に備えて、あらかじめ押印してください。

印は認め印でかまいません。

1 申請者の氏名・住所等

氏名	年齢	住所	電話番号
田畑耕作	〇〇	加茂市幸町二丁目3番5号	52-0080
国内連絡先(申請者が国外居住者である場合)			
氏名	住所	電話番号	

2 許可を受けようとする土地の所在、地目、面積等

土地の所在		地番	地目		面積 (㎡)	耕作者の氏名	市街化区域、市街化調整区域、その他の区域の別
大字	字		登記簿	現況			
幸町	二丁目	123-4	田	畑	300	田畑耕作	その他
以下余白							
計 300 ㎡		(田 ㎡ 畑 300 ㎡)					

加茂市には市街化区域、市街化調整区域はありませんので「その他」と記入します。

現況地目の合計面積を記入します。
転用の目安は、農家住宅建築敷地の場合で概ね1,000㎡。一般個人住宅敷地の場合で、概ね500㎡となります。

3 転用目的 **一般個人住宅建築敷地**

許可番号 第 号

上記のとおり許可します。

〇〇 年 月 日
加茂市農業委員会会長 〇 〇 〇 〇

1 条件 別紙記載のとおり
2 注意事項 別紙記載のとおり
3 教示事項 別紙記載のとおり

○申請書の提出期限は、毎月10日です。(早めの提出にご協力をお願いします。)



捨印

転用が必要な理由を具体的かつ詳細に記入してください。

- 【例】
- ① 現在の住宅が老朽化して手狭なため、隣接する申請地に別棟で住宅を建築したい。
 - ② このたび、長男夫婦が同居するため、隣接地に住宅を増築したい。
 - ③ 現住宅が老朽化し手狭なため、現敷地と合わせて隣接する申請地に住宅を建築したい。
 - ④ 駐車スペースが狭隘なため、隣接する申請地に駐車場を造成したい。

転用の目的となる事業計画について記入してください。

建築物、工作物ごとに名称、棟数、建築面積（1階床面積+ポーチ等の面積）、所要面積を記入します。
建築物、工作物以外のもの場合は、それに見合う項目を記入し、名称以降の欄を記入してください。
駐車場の場合は台数、宅地造成の場合は区画数、植林の場合は本数も記入してください。

○事業を行う土地が申請地（農地）だけの場合

転用許可を受ける面積で事業に必要な面積を記入してください。合計面積は転用許可を受ける農地の面積と一致します。また、所要面積の計と土地の利用面積の計は一致します。

○事業を行う土地に申請地のほかに隣接宅地等を含む場合（農地以外の一体利用地がある場合）

事業を実施する農地以外の土地（一体利用地）の面積と転用許可を受ける農地面積の合計面積（事業を実施する全体の面積）を記入してください。一体利用地の面積は「他 ○○㎡」欄に記入します。所要面積の計と土地の利用面積の計は一致します。

転用事業に申請の農地以外の土地を含む場合は、その土地の所在地、地目、面積等を記入してください。

【例】加茂市幸町二丁目○○○番 宅地 200㎡

該当する添付書類の番号に○をつけてください。

4 転用計画

① (転用しようとする事由の詳細)
このたび、長男が結婚し家族が増えることになり、現在居住している住宅が手狭になることから、住宅を新築することとしましたが、現在の住宅敷地は狭い上に地盤が悪いことから、申請地において新築することとしたものです。

② 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要

工事計画	着工○○ 〇〇年 〇〇月 〇〇日から 完工○○ 〇〇年 〇〇月 〇〇日まで				土地利用の面積
	名称	棟数	建築面積	所要面積	
土地造成					田 ㎡
建築物	住宅	1	140	250	畑300㎡
工作物	駐車場	2台		25	採 ㎡
	庭			25	他 ㎡
計		1	140	300	計300㎡

③ 事業の操業期間又は施設の利用期間
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日から
永久年間

④ 資金調達についての計画

資金所要額 総額	3,200万円	自己資金	2,000万円
整地費	200万円	借入金	1,200万円
建設費	3,000万円	借入先	〇〇銀行加茂支店
その他	円		

⑤ 付近の土地、作物、家畜及び生活環境等への被害防除施設の概要
隣接地との間には、U字側溝やコンクリート土留を敷設し雨水、土砂は流出しない様にします。また、生活排水については、下水道に接続する計画であることから、周囲への影響は生じません。

⑥ その他参考事項

添付書類

- (1) 法人にあつては、定款若しくは寄付行為の写し又は法人の登記事項証明書
- (2) 申請土地の登記事項証明書（全部事項証明書）
- (3) 申請土地に係る地番を表示する図面
- (4) 申請土地の位置及び付近の状況を表示する図面（縮尺は1/10,000ないし1/50,000程度）
- (5) 申請土地に建設しようとする建物又は施設の面積、位置及び施設物間の距離を表示する図面（縮尺は1/500ないし1/2,000程度）
- (6) 申請土地が土地改良区の区域内にある場合には、当該土地改良区の意見書
- (7) 資金調達についての証明書類
- (8) 所有権以外の権原に基づいて申請する場合には、所有者の同意があつたことを証する書面、申請土地に地上権、賃借権等に基づく耕作者がいる場合には、その同意があつたことを証する書面
- (9) 当該事業に関連して法令の定めるところにより許可、認可、届出等を要する場合においてこれを了しているときは、その旨を証する書面
- (10) 当該事業に関連する取水又は排水につき関係権利者の同意を得ている場合には、その旨を証する書面
- (11) その他参考となるべき書類

いずれかを○で囲みます。
一時的な利用で、農地への復旧を計画している場合は、一時転用に○を付けます。一時転用で許可を受けた後に、永久転用に変更する場合は、事業計画変更承認申請が必要となります。

許可日以降の日付で計画してください。（着工日は許可日と記入いただいても結構です。事業の操業期間は、完工日の翌日からとしてください。）

なお、通常の場合、毎月の申請締切日は10日で、許可日は月末となります。（30aを超える場合は、翌月の18日頃となります。）

（別添）「資金計画申出書」と相違ない計画を記入してください。
※融資機関の残高証明、融資証明書、又は融資申込書の写し等の資金の裏づけ書類が必要となります。

具体的な被害防止措置及び、被害発生の無い具体的な理由について記入してください。
開発区域が1haを超える場合、「排水処理計算一覧表」の提出及び排水審査が必要となります。

農地法以外の法令により義務付けられている行政庁との協議状況等を記載してください。
【例】農振農用地からの除外、加茂市自然環境保全条例の規定による許可、都市計画法の規定による開発行為の許可、水路等の占用許可、等の協議状況

資金計画申出書の記入例

別紙様式 記入例（一般個人住宅）

資金計画申出書

申請者： 加茂市幸町二丁目3番5号 田畑 耕作

内 訳	金 額	預入・借入先等	協議等の状況
自己資金	20,000,000 円	〇〇銀行加茂支店	別添、普通預金通帳（写）のとおり。 （申請者名義の通帳で、残高がわかるもの）
	円		
小計	20,000,000 円		
借入金	4,000,000 円	◇◇銀行加茂支店	別添、融資証明のとおり。
	8,000,000 円	〇〇銀行△△支店 (住宅金融公庫マイホーム建築資金)	別添、借入申込書の写しのとおり。
小計	12,000,000 円		
その他	円		
	円		
小計	- 円		
合 計	22,000,000 円	-	-

- (注意)
- 1 「その他」の「預入・借入先」欄には、資金の詳しい内容についても記載する。
 - 2 「協議等の状況」欄は、預金等の種類、事前審査及び融資申込書の提出状況について具体的に記載する。
 - 3 その他証する書類を添付することにより内容が明らかな場合は、『別添のとおり』と記載して差し支えない。